

検証結果報告書（金沢大学）

動物実験に関する検証結果報告書  
（金沢大学）

動物実験に関する相互検証プログラム  
（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 23 年 11 月

平成 23 年 11 月 8 日

金沢大学学長  
中村 信一 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会  
動物実験に関する相互検証プログラム  
検証委員会 委員長



対象機関：金沢大学

申請年月日：平成 23 年 5 月 25 日

訪問調査年月日：平成 23 年 10 月 25 日

調査員：佐藤 浩（自然科学研究機構生理学研究所）

久保 薫（奈良県立医科大学）

鳥居 隆三（滋賀医科大学）

#### 検証の総評

金沢大学は 150 年の歴史を刻み、3 学域・16 学類・5 研究科・1 研究所等を擁する北陸地域を代表する高等教育機関であり、かつ東アジアの知の拠点を担う 12,200 人の学生が在籍する総合大学である。3 学域は 3 キャンパス（宝町、鶴間、角間）に分かれているが、動物実験に関しては、3 つのキャンパスを全学の動物実験委員会がまとめており、動物実験計画の効率的ウェブ審査、承認、実施結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等、文部科学省の基本指針に則した動物実験の実施体制が高度に整備されている。また、魚類や両生類の飼養保管施設も届出のうえ把握する体制をとっている。総合大学としての課題も克服しつつ、良好な管理体制のもとで動物実験が適正にかつ安全に実施されるよう努力している点など、総合的に判断して高く評価できる。

施設や設備の維持管理状況も良好であり、大きな問題点は見当たらない。今後も動物実験の良好な体制を維持されたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
平成19年4月1日に「金沢大学動物実験規程」および「金沢大学動物実験委員会規程」が定められており、その内容は基本指針に適合している。よって、動物実験に関する機関内規程の整備状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
金沢大学動物実験委員会規程に基づく委員会は、学域を代表する教員、実験動物学を専門とする教員、微生物学を専門とする教員、倫理を専門とする教員、法律を専門とする教員、実験動物研究施設長、事務部の研究推進課長、その他学長が必要と認める教員を含む14名の委員により構成されており、基本指針に適合している。よって、動物実験委員会の整備状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験規程、動物実験委員会規程、動物実験委員会申し合わせ事項等、動物実験計画書、動物実験計画書（継続実験用）、動物実験計画書（試験・検定／学生実習継続用）、動物実験実施報告書、動物実験計画現況報告書等、動物実験を実施するのに必要な規程や様式等が整備されている。よって、基本指針に適合した動物実験の実施体制が定められているとする自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

金沢大学遺伝子組換え実験安全管理規程、微生物等安全管理規程、特定病原体等安全管理規程、金沢大学における化学物質の管理に関する細則、学際科学実験センターアイソトープ総合研究施設 RI 動物実験要項等が基本指針に適合して整備されているが、動物を用いた遺伝子組換え実験室の申請・審査について、動物実験委員会及び遺伝子組換え実験安全委員会の2つの委員会の所掌のため、手続きが煩雑であったことから、一部に改善すべき点があるとした自己点検・評価である。その後、要件を確認するための写真を両委員会で共有すること等により、この問題は改善されている。しか

しながら、動物実験規程にある地震、火災等に対する災害マニュアルが未整備であることから、一部に改善すべき点があるものと判断する。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

規程に基づく、地震、火災等に対する災害マニュアルについても整備されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 21 年度は実験動物の飼養保管が 14 箇所の施設で行われた。各施設には実験動物管理者が選任され、標準業務手順書（SOP）の整備、各飼養保管施設における教育訓練、さらに飼養保管施設利用状況の報告書の提出など、実験動物の飼養保管体制は整備されている。よって、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、実験動物の飼養保管体制は適正と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

各飼養保管施設における微生物モニタリング等の実施体制（実施方法及びすべての飼養保管施設を微生物モニタリングの実施対象とするのか）について、動物間の感染のみならず、人獣共通感染症の予防にも必要な事項であり、早急に検討し、実施されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

魚類・両生類の飼養保管施設も届出制により動物実験委員会が把握していることは、評価できる。

## Ⅱ. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会は、動物実験計画の効率的ウェブ審査、実験の実施報告の審査、申請された飼養保管施設や動物実験室の实地審査、自己点検・評価、情報公開等を的確に行い、またそれらの記録も確実に保管されている。よって、基本指針や学内規程に基づいた委員会の役割を十分に果たしているとする自己点検・評価結果は妥当な内容と判断する。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

21年度は287課題（323計画）の動物実験計画の審査を行い、承認308件、取下げ11件、非承認3件、不受理1件、届出7件（カエル2件、魚類5件）であり、審査過程の記録も保管されており、動物実験計画の立案、審査、承認・非承認は適正に実施されている。しかしながら、動物実験実施報告書については、すべて提出されたとはいえ、学内規程の提出期限を大幅に遅れて提出されたものが散見された。よって、動物実験計画書の立案、審査、承認については問題点がないが、実施報告について、一部に改善すべき点があるとした自己点検・評価結果は妥当な内容と判断する。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

規程に則し、動物実験実施報告書の期限内提出の予告や期限内未提出者は新年度計画を申請できない等の措置を含めて徹底することを検討されたい。これにより、自己点検・評価作業が順調に進められよう。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する動物実験に事故報告はなく、安全かつ適正に動物実験が実施されている。また、安全管理を要する動物実験ごとにリストを作成して実施場所も把握している。感染動物実験室も遺伝子実験研究施設に設置されており、万全の実施体制がとられている。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されているとする自己点検・評価結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

安全に動物実験が実施されているが、飼養動物の微生物モニタリング検査について、その実施要件（方法と実施対象）に検討の余地がある。実験動物固有の微生物学的品質の問題もあるが、人獣共通感染症の検査は必要であり、センター以外の部局等における人獣共通感染症の検査を検討されたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物の飼養保管は、提出が義務化されている標準業務手順書に則して実施されている。また、各飼養保管施設の利用状況報告書や教育訓練報告書も毎年提出され、その記録も保管されている。



よって、実験動物の飼養保管状況について、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されているとする自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 20 年度に施設等の維持管理状況を調査するとともに、各飼養保管施設から利用状況報告書を提出させている。その結果、特に問題は認められていない。よって、飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているとする自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物管理者、動物実験責任者、動物実験実施者および飼養者について、教育訓練を行っている。全学の動物実験基礎講習会及び各飼養保管施設における講習会が開催され、平成 21 年度の全学

の動物実験基礎講習会は計 8 回開催されて 245 名が受講した。内容は、動物実験関連法規の解説、動物実験概論、学内手続き・基本作業解説であり、1 クール約 2.5 時間である。教育訓練実施記録や教育訓練参加者一覧、各飼養保管施設の教育訓練報告書、その他の教育訓練資料等もよく整備されており、基本指針に則した教育訓練が実施されている。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

学内規程が施行された平成 19 年度分から、金沢大学の情報公開及び動物実験委員会のホームページ上で、動物実験規程、動物実験委員会規程、各種様式、自己点検・評価報告書及び自己点検の資料について公開している。よって、自己点検・評価、情報公開について、基本指針に適合し、適正に実施されているとし、自己点検・評価結果は妥当なものと判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

今後、情報公開の例として基本指針に例示されている、実験動物の飼養及び保管の状況等、及び検証結果報告書も併せて公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

金沢大学は3つのキャンパスに分かれているが、動物実験委員会や学際科学実験センターが中心となって強力な指導力を発揮している点は高く評価できる。今後とも総合大学としての課題を克服しつつ、適正な動物実験を実施できる体制を維持されたい。